

2024年2月28、29、3月1日開催
スマートエネルギーWEEK
東京ビックサイト



レブセルは、一般社団法人カーボンリサイクルファンドの一員として出展しました。
独自の吸収材で二酸化炭素を回収し、ガラスやコンクリートへリサイクル。



レブセルの展示台

奥中央：新製品のDAC装置（二酸化炭素を空気中から回収する装置）

左：レジンコンクリートでできたマンホールの模型（エクシオグループ・サンレック協力）

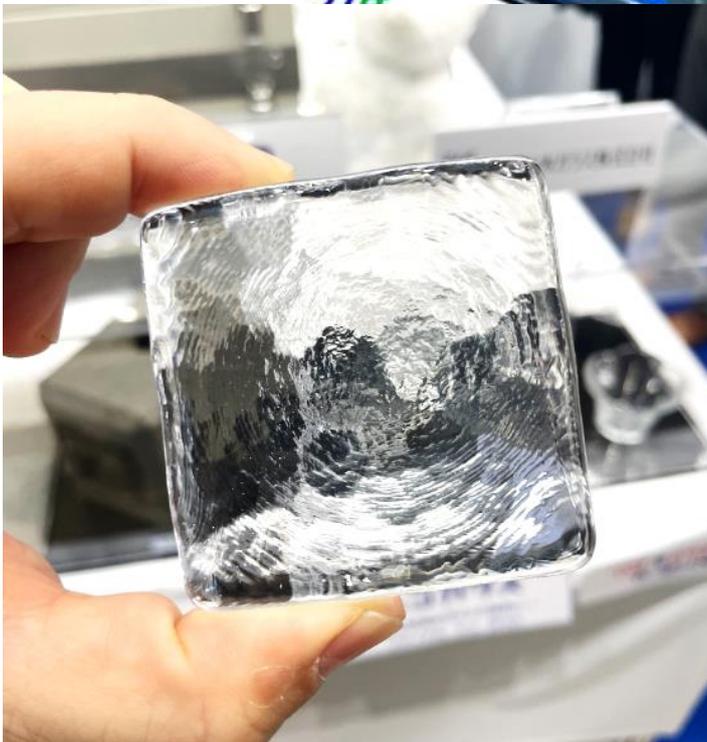
真ん中：レブセル温暖化対策マスコット「ZEROくまくん」

右：レコガラス（リサイクルエコガラス・東洋佐々木ガラス協力）



DAC（ダイレクトエアキャプチャー）装置

オフィスや、店舗、自宅などに設置し、空気中の二酸化炭素を回収します。



DAC装置をレブセル社長宅に設置し
回収した二酸化炭素を原料として
作製したガラスコップ。
成分的にも、強度的にも通常のガラスと
相違が無いことを
メーカーに確認しています。



レジンコンクリートは特殊有コンクリートで、主にマンホールやトンネルの内壁、塩害の恐れが有る風力発電の基礎に使われる。



コンクリートの重量に対し、10%の二酸化炭素を固定する事ができます。